

野々市市文化協会表彰

文 化 功 勞 賞

にし もと まさ あき
西 本 正 明

住 所 野々市市上林二丁目

表彰事由 昭和58年の将棋協会設立以来、役員として多年にわたり協会の活動を牽引し、県下野々市将棋大会を県内有数の大会へと育て上げた。また、12年もの長きにわたり会長を務められ、会長任期中にいしかわ県民文化振興基金の文化支援事業を活用した「夏休み子供将棋教室」の開催を自ら企画立案し、小学生の将棋ファンの拡大にも大きく貢献された功績は誠に顕著である。

なか むら けい こ
中 村 慶 子

住 所 野々市市稲荷二丁目

表彰事由 多年にわたり民謡協会の役員として会の運営や後継者育成に尽力するとともに、会のリーダー的存在かつ会員の模範として民謡の普及に努められた。女性センター教室での講師として、さらには若手会員の育成に特に力を入れ、近年では中学校にも出向いて学生の伝統芸能民謡体験授業や行事に参画された功績は誠に顕著である。

文 化 振 興 賞

ま ぶち あき お
馬 渕 昭 夫

住 所 野々市市二日市五丁目

表彰事由 菊花協会会員の減少傾向が続く中、会計業務の他に県菊花協会の野々市市代表として業務に携わり、野々市小学校生徒のダルマ作りでは学校との調整など、数多くの分野で活躍された。会員の模範として、会の維持向上の中心的役割を担い、尽力された功績は大である。

文 化 奨 励 賞

た ひで ゆき
田 嶋 秀 之

住 所 野々市市新庄五丁目

表彰事由 美術文化協会理事として協会の活動を牽引し、協会の発展に尽力された。令和6年開催の第63回日本現代工芸美術展において「東京都知事賞」を受賞された。そのほか日本現代美術展や日本現代工芸美術展、加賀友禅名匠創作展などにおいて数々の賞を受賞された功績は顕著であり、会員の模範である。

ひら の よし お
平 野 義 雄

住 所 野々市市太平寺四丁目

表彰事由 多年にわたり日本画部会の運営と会員の技術向上に多大に尽力され、県勤労者美術展や市美術展および日府展などにおいてこれまでに数々の賞を受賞された。また、太平寺水墨画の設立に参画し、市の文化発展にも貢献された功績は顕著である。

つじ せい じ
辻 清 治

住 所 野々市市三日市三丁目

表彰事由 令和5年開催の石川県勤労者美術展において「石川県労働者福祉協議会理事長賞（最高賞）」を受賞された。美術文化協会の最高齢ながら、市美術展や椿まつり絵画展、美術文化協会展等の行事にも積極的に出品され、意欲的に創作活動に取り組まれる姿勢が会員の模範である。

こん どう し りゅう
紺 藤 志 龍

住 所 金沢市野田町

表彰事由 令和2年4月に小学4年生で将棋協会に入会以来、熱心に将棋に取り組み、着実に棋力を向上させてきた。野々市将棋協会の順位戦においても最上級のA級で活躍、各種の県下大会で優れた成績を収め、将来の石川県将棋のホープと目されている。